

第5回金沢大学臨床研究審査委員会 議事概要

開催日時	平成30年10月24日(水) 15時30分～15時50分
開催場所	金沢大学附属病院外来診療棟4階 会議室
出席委員名	溝上 敦、山崎 宏人、崔 吉道、荒木 勉、合田 篤子、松本 哲哉、青木 裕江、石村 順子 (内部3名、外部5名)
欠席委員名	なし
審査意見業務への関与に関する状況	審議において、審査の対象となる臨床研究と利害関係がある委員は、当該臨床研究の審議及び採決には参加していない。
議論の内容及び結論	<p>議題</p> <p>①経過措置 「悪性神経内分泌腫瘍に対する I-131 metaiodobenzylguanidine (MIBG) を用いた内照射療法」 研究責任医師：金沢大学附属病院 核医学診療科 絹谷 清剛 実施医療機関：金沢大学附属病院 実施計画受領日：平成30年9月18日</p> <p>資料1に基づき、委員会事務局から説明があった。 金沢大学臨床研究審査委員会規程(以下「規程」という。)第4条第1項第1号(以下「1号委員」という。4名の区別のため、a, b, c, d を付す。)a から、追記された文章内で齟齬があるとの指摘があった。 規程1号委員b, cからも、同様の指摘があり、委員長から見直しを求めてはとの提案が行われ、委員全員一致で「継続審査」となった。</p> <p>②経過措置 「化学療法抵抗性神経芽腫に対する I-131 metaiodobenzylguanidine (MIBG) を用いた内照射療法」 研究責任医師：金沢大学附属病院 核医学診療科 絹谷 清剛 実施医療機関：金沢大学附属病院 実施計画受領日：平成30年9月18日</p> <p>資料2に基づき、委員会事務局から説明があった。 規程1号委員 a から、追記された文章内で齟齬があるとの指摘があった。 規程1号委員b, cからも、同様の指摘があり、委員長から見直しを求めてはとの提案が行われ、委員全員一致で「継続審査」となった。</p> <p>③実施計画の提出 資料3に基づき、委員会事務局から「難治性デスモイド腫瘍に対するビンブラスチンおよびメソトレキセート併用療法の探索的研究」について、研究責任医師が実施計画を東海北陸厚生局に提出した旨の報告があった。</p> <p>④各種報告等様式について 資料4に基づき、委員会事務局から説明があり、審査の結果、原案どおり</p>

	委員全員一致で承認された。
その他	<p>次回の開催日時の予定について、11月第4水曜日の11月28日(水)臨床試験審査委員会終了後から外来診療棟4階 会議室にて開催する案内があった。</p> <p>また、平成31年2月4日(月)15時から臨時で開催することとなった。</p>